

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.41

第42回広島県PTA研究大会 えたじま大会



えたじま大会
実行委員長
丸新英二

10月6日（日）、台風の接近に伴い心配された天候にも恵まれ、ご来賓をはじめ多くの皆様にご参加いただき、第42回広島県PTA研究大会えたじま大会を盛大に開催できましたことに對し、地元PTA会員及び実行委員を代表して心よりお礼申し上げます。

初めて、江田島市でPTA研究大会が行われることもあり、何もかもが手探り状態でした。協議を重ねた末、役員が決定し、昨年の6月に実行委員会を結成し、市内12校の小中学校を5つの専門部会に分け準備を始めました。試行錯誤しながらの大会準備は、生みの苦しみでもありますが、各単位PTAの平成25年度の体制も固まった頃から、活動が本格化してきました。

江田島市内で、このような大規模な大会を開催するにあたり、江田島らしさをどのよう

に大会に盛り込む

か何度も実行委員

会で協議し、知恵を

出し合いました。時

には、暗礁に乗り上



江田島市内4中学校
プラスバンド演奏



山下明生氏記念講演

いに行き、多くの皆様に協力していただきました。学校や地域の枠を超え、江田島市全体が一つになることで、今回の大会を成し遂げることができたと感じています。

今、私たちおとながしなければいけないことは、地域社会全体で、子どもたちを見守り、支えていくことです。子どもたちの教育環境を守ることで、子どもたちに明るい未来を残すことができると考えます。「宝物である子どもたちのために」豊かな教育環境を守ろう」を大会スローガンとして開催した研究大会において、かけがえのない宝物である子どもたちが、健やかに、豊かな人生を歩んでいくために、家庭・学校・地域の連携の絆を一層深いものとし、私たちおとなが一番の教育環境であり教育条件になることを目指していくことを願っております。

最後になりましたが、多くのPTA関係者の皆様をはじめ、本大会開催にあたりご尽力いただきましたすべ

ての方に感謝すると

ともに、心よりお礼

申し上げます。



安芸郡さか大会
実行委員会のPR

大会報告

当日は前日からの雨もあがり、県内各地より約650名の会員が江田島市に集結し、大会は盛大に開催されました。

会場となった県立大柿高校体育館には、地元特産品や東日本大震災の復興支援ブースも設けられ、大会プログラム以外でも大いに楽しめる大会となりました。

午前中は、開会行事、3校による地域連携の実践発表、午後からは市内4中学校合同のプラスバンド演奏に続き、開催校の卒業生でもある、童話作家山下明生氏の記念講演、そして閉会行事で終了しました。

中でも、「童話への旅」と題した記念講演では、幼少体験や日常生活から想像をふくらませ、手塚治虫氏との交流や海外での旅から多くの作品を作り出したことが語られました。

子どもの成長のためには、豊かでやさしい心を持ち続けることが必要であり、そのために親である私たちも、心に余裕を持って人生を楽しんでいけるようにしたいと感じました。

大会運営にあたり、色々とご尽力いただいた、江田島市内12小中学校の皆様にご感謝いたします。

（県P連 理事 小川剛司）

第61回 日本PTA全国研究大会 みえ大会 報告

8月23日・24日開催 県内各都市P連より 54名参加



オープニングアトラクション



大会宣言文



長崎大会PR



会場いっぱいの全体会



日本PTA尾上会長あいさつ



井村雅代さん

伊勢神宮・松坂牛・赤福・伊勢エビ・真珠などで知られる三重県において、第61回日本PTA全国研究大会が行われ、全国から約8千人のPTA会員の方が伊勢市に集いました。

集まったすべての方が子どもたち

のために頑張っておられるのだと思います、集まった皆さんの向こうには県P・郡市P・単Pの多くの方々が協力し合い、頑張っておられるのかと思うと感動するばかりでした。私が参加した第2分科会「家庭教育」の研究課題は「今、子どもたちに必要なこと、私たちができること」でした。講師は、数多くのメダルを獲得したチームを育てられたシンクロの井村雅代さんでした。井村さんは、「今の親は子どもたちがケガや失敗をさせないように障害物を取り除いてやりすぎ。本当は子どものためでなく、ケガや失敗をさせては困るから、親自身の

ためにやっているにすぎない。」と話されました。親はそうは思っていないなくても障害を乗り越える力をつけるチャンスを多少なりともなくしているのかもしれない。子どもたちが成長していく上で困難を乗り越える力はとても大事です。しかし、みんなが同じように乗り越えられるわけではありません。子どもを桜の花にたとえられました。「同じ木につく花でも早く咲く花もあれば遅く咲く花もある。」と言われました。子どもは一人一人違います。私たちは親は子どもをよく見て、その子に合った対応で子どもを信じ、乗り越える力を育てていきたいものです。

(県P連 理事 正木みどり)

今も続くひろしま大会のメッセージ
「がんばろう日本！
がんばろうPTA！」

「日Pひろしま大会」のフィナーレでは、東北ブロックの会長さんたちと一緒に全国へ向けてのメッセージを届けることができました。

また、8千人を超える参加者と共に歌った「ビリーヴ」の感動は忘れることができません。

ひろしま大会は終わりましたが、「京都大会」「みえ大会」へと引き継ぎ、全国の仲間に向けた心のきずなは大きく育ち、東日本大震災支援の取り組みへとつながっております。

大震災から2年半が過ぎ、日本PTAでは、この震災で保護者が亡くなられたり、行方不明になられた児童生徒に対する「就学助成金」の申請受付を開始しました。

この助成金支給の申し込みにあたっては、対象児童生徒の把握、保護者への趣旨の徹底、申請事務処理など、県や市町教育委員会、郡市Pや単位P、関係学校等には大変お世話になりました。

今後もPTAは、就学助成や教育支援助成事業だけではなく、「未来ある子どもたちの成長のために」会員一人一人が日々のPTA活動を通して、家庭・学校や地域とかわり、学び、成長していかなければなりません。

「楽しい子育て全国キャンペーン」～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～ 三行詩
平成25年度広島県PTA連合会賞受賞作品
(第一次審査通過作品)

小学生の部

学 校 名	学 年	名 前	作 品
廿日市市立宮内小学校	4 年	吉 良 優 羽	家族といると 心の天気が 晴れになる
東広島市立竹仁小学校	2 年	わた 渡 舞	いやなことも いつでも話そう 家ぞくみんながみかただよ
庄原市立東小学校	3 年	ひがし 東 春 奈	テレビを消して 楽しい会話 おいしいごはんの調味料
安芸郡海田町立海田南小学校	5 年	ふな 船 木 駿 司	父さんがかいだんをどたどたりてくる今日は、 楽しい日よう日
神石郡神石高原町立神石小学校	3 年	み 三 城 聖 冬	ドロドロのユニフォーム 次、きる時は真っ白だ いつも母ちゃんありがとう

中学生の部

学 校 名	学 年	名 前	作 品
呉市立両城中学校	3 年	にし 西 村 知 紗	「おかえりー」と いつも出むかえてくれた やさしい祖母 大丈夫 これからは 私がなるよ あなたの足に
世羅郡世羅町立世羅中学校	3 年	さか 坂 川 久 紀	お父さん 赤とんぼが稲を刈れよと飛んでいるよ 今年も僕の出番だね
呉市立広南中学校	3 年	ふじ 藤 野 花 音	車の音がしたら 「おかえり」の準備 父の笑顔に会いに行く
安芸郡熊野町立熊野中学校	3 年	しげ 重 廣 え り	私と母は大声で会話 近所迷惑だからと止める父 わが家のルールは「ボリューム下げる」
世羅郡世羅町立世羅中学校	1 年	あき 金 谷 和 寿	けんかするけどすぐ仲直り だってばくとお母さん 似た者同士だから

一般の部

学 校 名	名 前	作 品
東広島市立三ツ城小学校	ひら 平 田 千 恵	わが家のしあわせ 目をあわせ ことばをあわせ 手をあわせ 胸をあわせて 充電完了
呉市立下蒲刈中学校	うめ 梅 田 敏 美	「ただいま」くらい 言いんさい 「おかえり」先に言うてえや
呉市立下蒲刈中学校	すが 菅 原 美 紀	足音で 我が子とわかる 母の耳
東広島市立郷田小学校	こん 近 藤 論 史	食事の時は、背筋をピン 全部食べて、お腹がポーン 幸せいっぱい、パンパカパーン
神石郡神石高原町立神石小学校	ふく 福 万 和 枝	鼻唄で昼食作りするわが子に 心とむ 母

入選
おめでとう
ございます

三行詩コンクール

「たのしい子育て」全国キャンペーン
～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～

平成25年9月19日(木)県P事務局
において「たのしい子育て全国キャン
ペーン」～親子で話そう！家族のき
ずな・我が家のルール～三行詩審査会
を行いました。
応募総数2394点の中から厳正な
審査により、小・中学校の部、各30
点、一般の部5点を選出させていただきました。

小・中学生の部は県教育委員会義務
教育指導課の指導主事さんのご協力の
もと、各5点の表彰候補作品を選出し
ていただきました。
どの作品も家族のことや自分の気持
ちを素直に表現されており、心がジーン
とするような素晴らしい作品が多
かったように思います。

なお、選出した15作品は12月7日
(土)の、全小・中学校PTA母親代
表研修会で「広島県PTA連合会賞」
として表彰させていただきます。

また、これらの作品は(公社)日本
PTA全国協議会へ第一次審査通過作
品として推薦させていただきました。
素晴らしい作品を本当にありがとうございました。



三行詩審査風景

祝 文部科学大臣表彰 日本PTA会長表彰

先月の19日（火）、ホテルニューオータニにおいて、秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと、日本PTA全国協議会創立65周年記念式典が開催されました。
広島県の受賞団体や受賞者は次のとおりです。



文部科学大臣表彰

団体 3
個人 4 名

文部科学大臣表彰			
個人		団体	
呉市	尾道市	安芸郡	庄原市
広島市	東広島市	熊野町立熊野	小学校PTA
福山市	小森 密寿	第四小学校PTA	
増原 和子	西本 博之	上里瀬小学校PTA	



個人の部の受賞者のみなさん

日本PTA会長表彰

個人 3 名
特別 15 名

日本PTA会長表彰			
特別		個人	
庄原市	平田 英吉	大竹市	大竹市PTA連合会
庄原市	加藤 隆弘	福山市	福山市立
府中市	西宮 晴之	大竹市	新矢 佳弘
府中市	北川 美幸	三原市	上田 隆政
尾道市	國田 広美	豊田竹原	川本 円
三原市	橋本 智美	大竹市	永井 隆
安芸高田市	神田 正広	大竹市	大竹市PTA連合会
安芸郡	大塚 浩樹	大竹市	大竹市PTA連合会
豊田竹原	水戸 美和	大竹市	大竹市PTA連合会
岩手	岩崎 雅吉	大竹市	大竹市PTA連合会
小川	小川 政彦	大竹市	大竹市PTA連合会
江田島市	谷口 桂司	大竹市	大竹市PTA連合会
呉市	八木 明美	大竹市	大竹市PTA連合会



特別表彰を受賞された方々



受賞された個人・団体関係者のみなさん

「ひろしま
トンチキレモン」
みなさんも
つくってみませんか？



ひろしまトンチキレモン レシピのHPアドレス
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/tonchiki-recipe.html>

ひろしま給食100万食プロジェクトで、広島県の子どもたち20万人が食べたという「ひろしまトンチキレモン」を我が家でも作ってみました。
2種類のお肉を揚げるのは、少し面倒だと思いましたが、ソースはレモンの酸味の後に好みソースやオイスターソースのコクが加わり、とてもおいしかったです。
このソースは焼いた鶏肉にかけてもいいし、冷めてもいいので、唐揚げをリメイクしてお弁当にもおすすめです。

（県P連 理事 中森幸恵）

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…
（加害事故の補償）

インターンシップ（職場体験）やアルバイトに起因する賠償責任も対象となります。

●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気*の補償

*病気入院補償はWプランのみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引25%
損害率による割引25%適用で
個人で加入するより割安！
スクールメディカルデスク24でお子様の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。
**広島県PTA連合会
小・中学生総合保障制度**



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のベネネームです。
この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
平成25年7月作成 募文No13-T-02954



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問い合わせ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ広島
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社

TEL：0120-018-217
TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

共同引受保険会社

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社